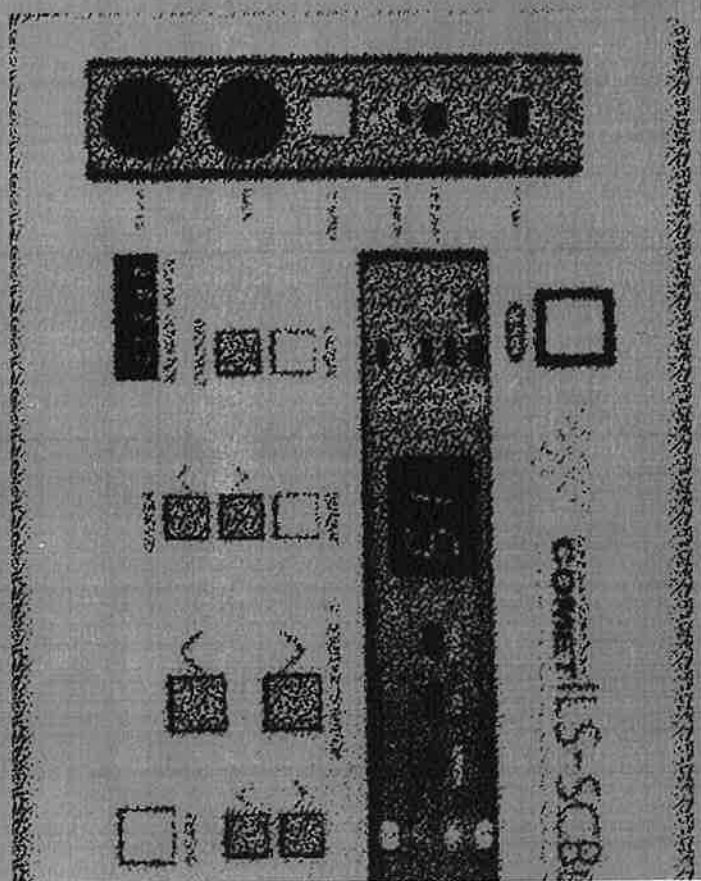


COMET

# ILS-SCBII

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも  
見られるところに保管してください。





# 1 安全のため特にご注意ください

---

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

---

## 絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



## 警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



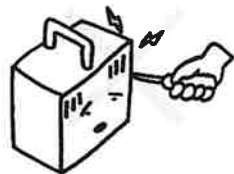
- 電源部の出力コネクタ—金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



- ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



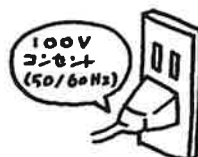
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

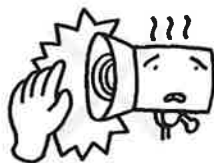
急激に大電流が流れ、スパークによる火傷、発火の恐れがあります。



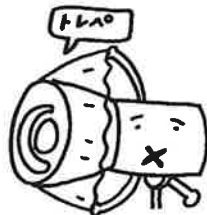
## 注意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。  
火傷の恐れがあります。

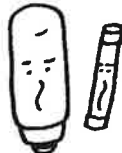


- ヘッドは、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。  
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。  
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。

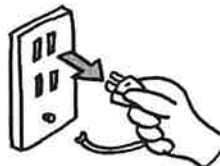
定格品



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。  
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。  
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



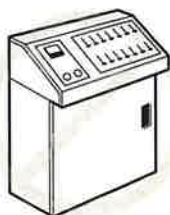
## 2 使用上のご注意とお願い

---

■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。

特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。



---

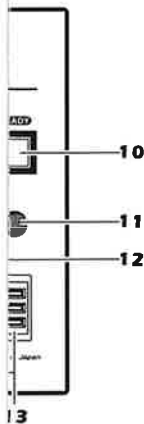
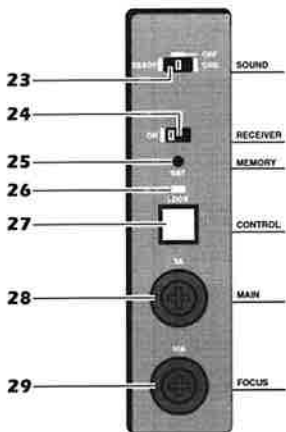
■赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

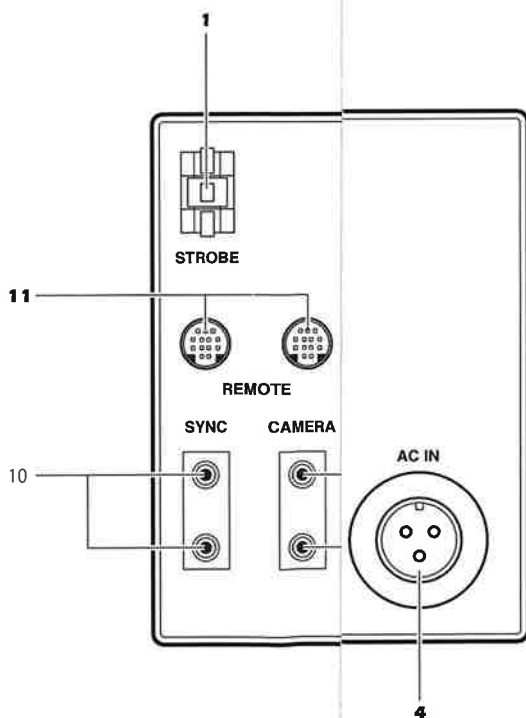
# 3 各部の名称とはたらき

	名称	た	ら	き	参照頁
1	メインスイッチ (MAIN)	AC電源スイッチで	OFF	にします。	22
2	ブラケットポジションランプ	オートブラケット機	力を1/6 EVステップで全体を	EV値で「+」「0」	13
3	ブラケットモード表示ランプ	ブラケットのステッ	ン」にします。		14・15
4	メモリーNo.表示	呼び出したメモリー	ます。		14・15
5	フォーカスランプ点灯表示ランプ (FOCUS)	フォーカスランプが	るときは3秒間押し続けて「ON」に	ポジションランプの「+」が点灯します。	16・17
6	FFI表示ランプ (FFI)	充電完了前に発光操	作するとき、±1/3～±3/3 EVを		16・17
7	エラー表示ランプ (ERROR)	通信エラーが発生し			
8	スクリーンUP/DOWN表示	スクリーンがUPの	(CHG)「OFF」を切り替えます。		17
9	スクリーン切り換え表示	[A]モードでは①～	のスクリーンをコ	キには「ON」にしてください。	18・19
10	レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチ	充電が完了すると点	灯を軽く押ししてく	ださ	
11	リモコンレシーバー	リモコンの受光部で	「ピッ」とブザーが鳴り記憶します。		14・15
12	スクリーンモードキー (SCREEN A/B)	スクリーンの①～⑥	ON」のとき点灯します。		20
13	シンクロソケット	CXタイプのシンク	ロランプキー、フォーカスランプ	キー以外すべてロックされます。	20
14	スクリーンUP/DOWNキー	スクリーンの①～②	ズ定格をお守りください。		22
15	モデリングランプキー (MODEL)	各電源部に接続され	ます。ヒューズ定格をお守りく	ON/OFFにしま	22

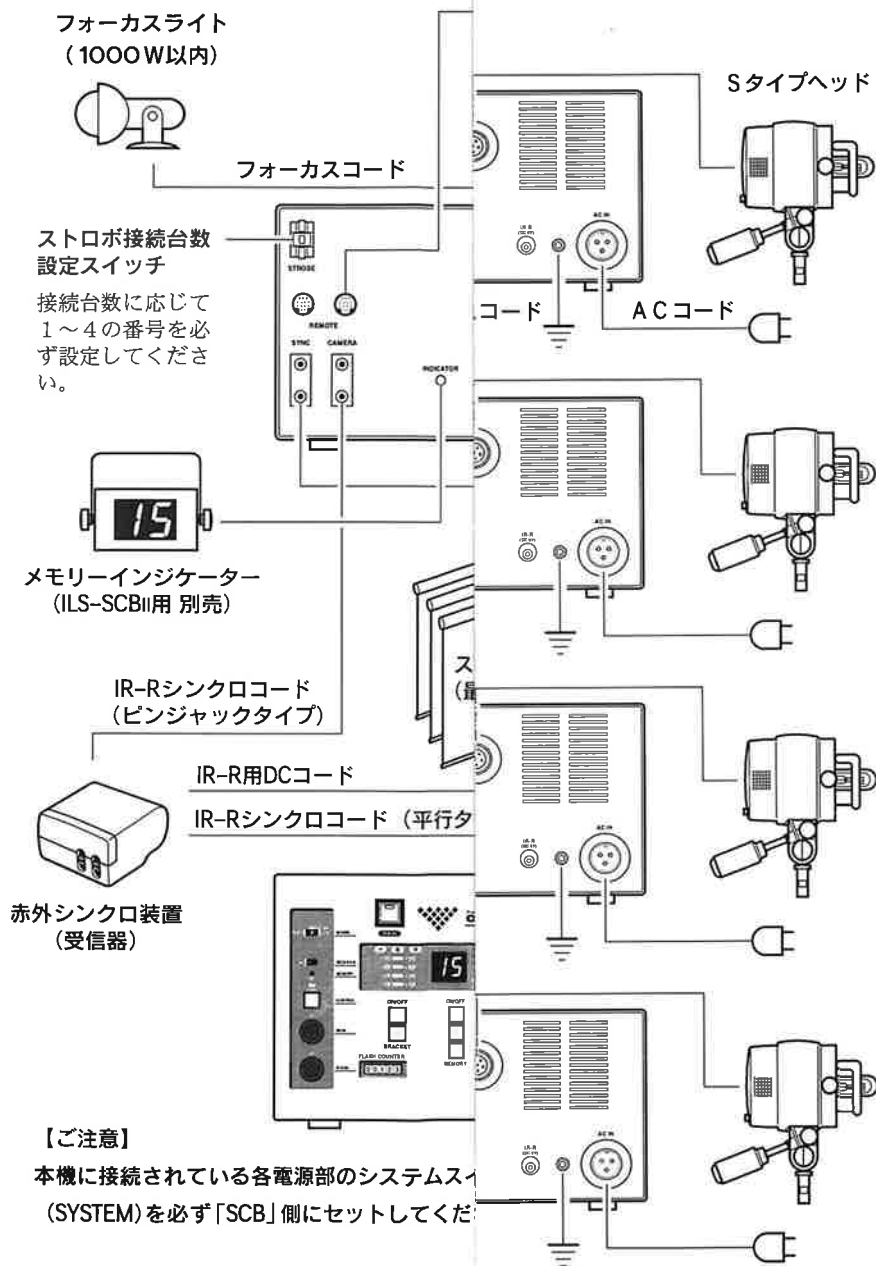


# 3 各部の名称とはたらき

名称	らき	参照頁
1 ストロボ接続台数設定スイッチ (STROBE)	電源部の接続台数 (最高品) でスクリーンを接続します。	
2 シグナル端子 (SIGNAL)	充電完了をはじめ各種B用 (別売) を接続します。	
3 フォーカスランプコンセント (FOCUS)	フォーカスコード (付き、またシンクロコネクターを	
4 ACコネクター (AC IN)	ACコード (付属品) ためのコネクターです。 バーコードで接続します。	
5 接地端子 (アース)	感電を防止するため、	
6 DC 6 V 出力端子 (IR-R (DC6V))	IR-R用電源出力端子 IR-R以外の目的で	



# 4 システム接続系統図



# 5 操作手順

- 1. 本機と接続されている各電源部のシステムスイッチ (SYSTEM) を「SCB」側にセットしてあることを確認してください。



電源部システムスイッチ

- 2. 電源部のメインスイッチをすべて「ON」にしてください。

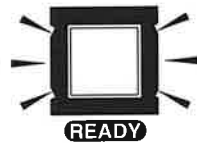
ILS-SCBIIのメインスイッチが「OFF」になっていることを確認してから、接続されている ILS-1200/2400a電源部のメインスイッチをすべて「ON」にしてください。

- 3. 充電の開始と完了。

ILS-SCBIIのメインスイッチを「ON」にします。接続しているすべてのILS-1200/2400a電源部が充電を開始し、すべての充電が完了すると ILS-SCBII 本体のレディランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯します。サウンドは設定されているモードで鳴ります。



ランプ点灯で充電完了



- 初回は充電完了に約 10 秒かかります。次回からは 2.4 秒で充電が完了しますが、この動作はメインスイッチを「OFF」にし、再び「ON」にするごとに行われます。
- 各電源部のモード設定等については「ILS-1200/2400a取扱説明書」を参照してください。

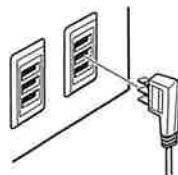
- 4. テスト発光をしてください。

レディランプ (READY) / テスト発光スイッチを軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確認して下さい。

- 5. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコード (別売) でカメラと接続し、シンクロ発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルム、もしくはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ (発光) テストをされることをお勧めします。



【ご注意】

- カメラ、またはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60～1/30で使用してください。
- カメラによっては、シンクロコードに極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、使用してください。

■6. 接続ヘッドすべてのモデリングランプのON/OFFをすることができます。接続されているILS-1200/2400a電源部のモデリングランプキーが「ON」のときは、ILS-SCBIIのモデリングランプキー(MODEL)で一括にON/OFFすることができます。

## 6 マスターバリエーター

マスターバリエーターは、各電源部の調光設定した出力比を保ちながら、全体を1/6EVステップで調光します。

■ 調光範囲

いずれかの出力が最大もしくは最小になるまでの範囲を1/6EVステップで調光します。

いずれかの出力が最大か最小に達すると、その出力表示が二度点滅し“ピッピッ”の警告音で知らせます。

【ご注意】

- すでにいずれかの出力が最大出力、または最小出力を使用しているときマスターバリエーターは機能しません。

● MASTER VARIATOR

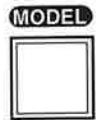


# 7 モデリングランプ

このシステムに使用されているすべてのヘッドを一括でON/OFFすることができます。最大4台の電源部の接続が可能です。またリモコン (RC-T3) で操作することができます。

## ■ モデリングランプキー

使用しているすべてのヘッドのモデリングランプを一括でON/OFFします。

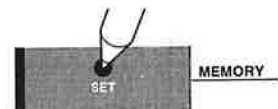
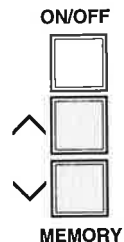


# 8 メモリーの登録・呼び出し

本機には最大4台の電源が接続でき、15パターンのライティングを登録することができます。

## ■ ライティングを登録する

1. メモリーON/OFFキーを「ON」にします。  
1～15のいずれかの数字が表示されます。
2. これから登録しようとするライティングパターンを何番に登録するかを決め、そのメモリーNo.をあらかじめメモリーキー (MEMORY) で呼び出しておきます。
3. ヘッドの位置を決め、接続されている電源部の各灯バリエーターキーの操作でストロボ出力を決定します。
4. ストロボ出力が決定したら本機のメモリーセットスイッチをボールペンなど、先の尖ったもので約3秒間押し続けてください。この間、サウンドが“ピーピー”と3回鳴り、その後“ピッピッ”と短い間隔で鳴って登録が完了します。

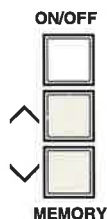


### 【ご注意】

●本機をご使用のときは、本機内の15メモリーが優先になり接続している電源部に内蔵されているメモリー（7メモリー）は無効となります。

●登録されているライティングを使用しているとき、各灯バリエーターキーや本機のマスターバリエーターキーで光量を変えると、少し遅れてメモリーNo.が点滅します。変更後もとのライティングに戻すときは、メモリーON/OFFキーをいったん「OFF」にし、再び「ON」にしてください。または、メモリーキー（MEMORY）を押して、再びメモリーNo.を表示させてください。

➤ 詳細は15ページをご参照ください。



●なんらかのトラブルで登録ができなかったときは、エラー表示ランプ（ERROR）が点灯して、警報音が鳴ります。解除するにはモデリングランプキー（MODEL）を押します。

解除後再度、登録し直してください。

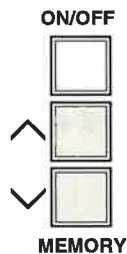


### ■メモリーに登録されたデータを読み出す

メモリーON/OFFキーを「ON」にする操作でいつでも呼び出すことができます。各メモリーを読み出すときは、メモリーキー（MEMORY）の△キー、または▽キーで使用するメモリーNo.を読み出してください。

### 【ご注意】

●メモリーキーを押す間隔を長くすると、メモリーNo.が選択されたものとして通信が開始され、キー入力ができなくなることがあります。このときは通信動作終了後、キー入力ができますので少し時間をおいてから行ってください。



### ■データの書き換えをする

登録されたデータを書き換えるときは、そのデータを読み出し、後は前項の「ライティングを登録する」の順序と同じ操作をします。➤ 詳細は14ページをご参照ください。

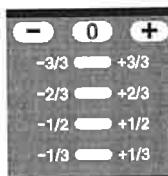
### ■メモリーの書き換え回数

本機に登録されたデータは内蔵のメモリーボードにより、約10年間放置しても消失することはありません。またデータの書き換え回数は1万回ですから通常の使用では書き換え不能になることはありません。

# 9 オートブラケット

オートブラケットは、適正露光量を決定し本番の撮影をするとき、適正値の前後の値を1/3EV・1/2EV・2/3EV・3/3EVの中から選択して露光量の異なった撮影することができます。

ポジフィルムによる撮影や、テスト撮影のときに大変便利です。



## ■ 操作方法

最終ライティングが決まったら

1. ブラケットON/OFFキーを3秒間押し続け「ON」にします。  
● **-** **0** **+** のランプの**+** が点灯します。
2. ブラケット選択キー (BRACKET) でブラケットのステップ幅を選びます。  
● シャッターごとに別表のように露光されます。
3. ブラケット機能を解除するときはブラケットON/OFFキーを3秒間押し続けると解除します。

ON/OFF



BRACKET



## ■ ブラケットモード選択と調光の順序

1/3 EV	+ 1/3 EV	→	0 (適正)	→	- 1/3 EV
1/2 EV	+ 1/2 EV	→	0 (適正)	→	- 1/2 EV
2/3 EV	+ 2/3 EV	→	0 (適正)	→	- 2/3 EV
3/3 EV	+ 3/3 EV	→	0 (適正)	→	- 3/3 EV

## 【ご注意】

- ブラケットは解除するまでくり返します。撮影が済んだら解除してください。
  - 1シャッター後にロック機能が働き、操作部左のロック表示ランプ (LOCK) が点灯します。マスターバリエーター、メモリー機能はすべてロックされます。再度光量を変えるときは一度ブラケット機能を解除してください。
  - 本機に接続されているILS-1200/2400a電源部のブラケットON/OFFキーは動作しません。ブラケットの表示は本機と同じになります。
  - マスターバリエーターキーを操作してブラケット範囲外に達したときは電源部の該当出力表示が点滅し、警報音が鳴ります。
  - 撮影途中に不発光が発生し、FFIランプが点滅したときは、空発光をして不発光が発生したポジションにセットしてから撮影をはじめてください。
  - 充電完了後に不発光が生じたときは、一度ブラケット機能を解除し、再び設定をやり直してください。
  - ブラケットON/OFFキーを「ON」にして、メモリー機能を選択するとブラケット機能は解除されます。(メモリー機能優先)
- オートブラケットを使用するときは再びブラケットON/OFFキーを「ON」にしてください。

## ■ オートブラケット時のサウンドモード

サウンドモードスイッチ (SOUND) を「CHG」モードにセットしておくと、ブラケットON/OFFキー (BRACKET) を「ON」にしている間中ブザー音が鳴り、ブラケットモードになっていることを知らせします。(ピーピーピー・・・)



- 充電中はサウンドは鳴りません。

サウンドモードスイッチ (SOUND) を「READY」のときは、充電完了時に「ピッ」と完了音が鳴ります。

# 10 リモートコントロール機能

---

ILSシリーズは本機を使用してシステムアップしたとき、電源部付属のリモコン (RC-T2) を使用して、登録されたライティングメモリーの呼び出し、テスト発光、スタジオ切り替えができます。

また、本機に付属のリモコン (RC-T3) を使用してスクリーンのアップダウン、接続されているモデリングランプの一括ON/OFFとフォーカスランプのON/OFFができます。

リモコン(RC-T2)による操作

(各部の名称等はILS-1200/2400a取扱説明書をご参照ください)

## ■メモリーの呼び出し

本機に内蔵された15パターンのメモリーをリモコン(RC-T2)の1～15のボタン(MEMORY)で呼び出します。

## ■テスト発光

テスト発光をするときはテスト発光ボタン (TEST) を押します。

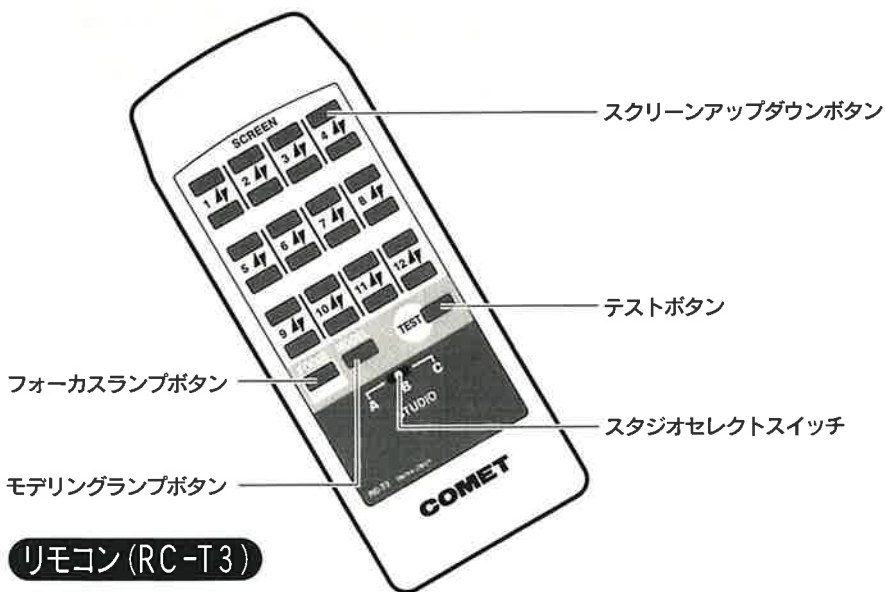
---

## ■スタジオセットの切り換え

1スペースに最高3面のスタジオセットが併設されているときなど、スタジオセレクトスイッチ (STUDIO A・B・C) の切り換えで他のセットに影響を与えずメモリーの呼び出し、テスト発光ができます。

### 【ご注意】

- 本機を使用してリモコン操作をするときは、本機のリモコンON/OFFスイッチ (RECEIVER) を「ON」にし、電源部にあるリモコンON/OFFスイッチ (RECEIVER) は「OFF」にしてください。
- スタジオセレクトスイッチはILS-SCBII内部の認識No.がセットされていなければ機能しません。多面スタジオにおいてご使用になるときは、ご購入店または弊社営業所へご相談ください。



## リモコン (RC-T3)

リモコン (RC-T3) による操作

### ■ スクリーンのアップ、ダウン (SCREEN)

Aパターンでスクリーン1～6、Bパターンで7～12をそれぞれコントロールします。  
動作を途中で止めるときは動作中のボタンをもう一度押します。

### ■ モデリングランプ (MODEL) のON/OFF

使用中のヘッドのモデリングランプを一括でON/OFFします。

### ■ フォーカスランプ (FOCUS) のON/OFF

本機に接続されているフォーカスランプ (最大1Kw) のON/OFFをします。

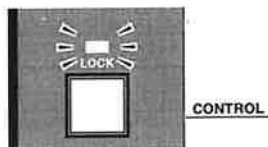
### ■ テスト発光 (TEST)

テスト発光操作はリモコンRC-T2、RC-T3どちらでも可能です。

# 11 コントロールロック

コントロールロックキーは設定したデータが、誤って触れても変わらないためのスイッチです。モデリングランプキー (MODEL)、フォーカスランプキー (FOCUS)、スクリーンUP/DOWNキー以外のキーはすべて操作しても作動しません。

スイッチが「ON」のときはスイッチの上のパイロットランプが点灯します。また、電源部との通信を行っている間はパイロットランプが点滅します。



●設定を変えるときは解除してから行ってください。

# 12 スクリーンコントロール

本機のスクリーンコントロールは最大12本まで可能です。A・Bパターンをそれぞれキーで切り替えて6本づつ使用します。

## ■ パターンの選択

スクリーンモードキー (SCREEN A / B) のキーを押すと、AまたはBをランプで表示します。

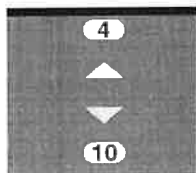
SCREEN A / B



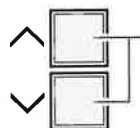
## ■ スクリーンのアップ、ダウン

スクリーンを上げるときはスクリーンUP/DOWNキーのUPキー (▲) を押し、下げるときはDOWNキー (▼) を押します。

スクリーンのアップ、またはダウン動作を途中で止めるときは、動作している側のキーを押してください。選択したパターンの反対側を操作するときには、スクリーンモードキー (SCREEN A / B) で切り替えます。



SCREEN

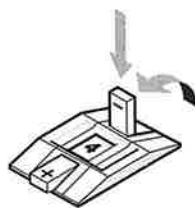


スクリーン  
UP/DOWNキー

# 13 接続電源部数の設定

本機に通信する電源部の台数を認識させるためにリアパネルのサムホイールスイッチの爪を起こして接続台数を設定してください。

- 初期設定は4に設定してあります。接続台数に応じて1～4の数字を順番に設定してください。



ストロボ接続台数設定スイッチ

# 14 エラー表示とFFI表示

## ■エラー表示 (ERROR)

本機と電源部間の通信が何らかのトラブルでできなかったときにエラー表示ランプと警報音で知らせます。

- モデリングランプキーで解除できます。



## ■FFI表示 (FFI)

充電完了の前にシャッターを切ったときに、FFI表示ランプの点灯と警報音で知らせます。このときは充電が完了して次のシャッター、またはテスト発光スイッチで正常に発光したら解除されます。

# 15 フォーカスランプの接続

リアパネルのフォーカスランプコンセントに最大1Kwのフォーカスランプを接続してフロントパネルのフォーカスランプキー (FOCUS)、またはリモコン (RC-T3) のフォーカスランプボタン (FOCUS) によってコントロールできます。

FOCUS



フォーカスランプボタン  
(RC-T3)



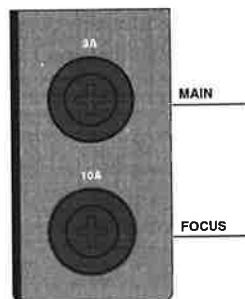
- フォーカスランプのON/OFF表示はフォーカスランプ点灯表示ランプで表示します。



# 16 ヒューズ交換

該当するヒューズホルダーの蓋を⊕ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

メイン (MAIN)	3 A
フォーカス (FOCUS)	10 A



## 【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。

# 17 保証とアフターサービス

---

## ■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

## ■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

## ■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

## ■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

## ■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。

# 18仕様


品名	ILS-スタジオコントロールボックスII	
型式	ILS-SCB II	
定格電圧	AC 100V ±10% 50/60Hz	
ヒューズ定格	メイン	3A
	フォーカス	10A
接続台数	4	
マスター調光 バリエーター	1/6EVステップ いずれかの出力値が最大、または最小に達するとストップ 出力が最大、または最小を設定時は調光不可	
メインスイッチ	接続電源部一括ON/OFF	
モデリングスイッチ	接続ヘッドのモデリングランプ一括ON/OFF	
フラッシュカウンター	5桁累算式	
スクリーン接続台数	12	
総合充電完了 テストスイッチ兼用	レディランプ点灯 サウンド (充電完了音/充電中音/OFF)	
フォーカスランプ	最大 1 Kw	
オートブラケット	1ショットごとに ⊕オーバー → ①適正 → ⊖アンダー の順に出力が変わる ±1/3EV・1/2EV・2/3EV・3/3EVをスイッチで選択	
メモリー数	15	
リモートコントロール RC-T2/RC-T3	RC-T2	メモリー呼び出し・テスト発光・スタジオ切り換え
	RC-T3	スクリーンコントロール・テスト発光・モデリングON/OFF ・フォーカスランプON/OFF・スタジオ切り換え
シンクロソケット	フロントパネル-3PBFX2 / リアパネル-ピンジャックX2	
シンクロ電圧	DC 12V	
IR-R専用DC端子	DC 6V	
サウンドモード	充電中音/充電完了音/OFF	
不発光警報	ERROR表示	通信不良を告知
	FFI表示	充電完了前発光を告知
寸法	445 (w) x 170 (h) x 400 (d) mm	
重量	8.7kg	

- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
なお、この仕様は1996年8月現在のものです。



検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

## ●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても所定の時間で充電しない</li> <li>●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する</li> <li>●ヒューズがすぐ切れる</li> <li>●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感じる</li> <li>●その他の異常や故障があるとき</li> </ul>	

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

## アフターサービスについてのご相談は

# COMET®

コメット株式会社

本社	〒102 東京都千代田区富士見1-4-6	☎ (03) 3264-8621	Fax (03) 3264-6385
東京営業所	〒102 東京都千代田区富士見1-4-6	☎ (03) 3264-8625	Fax (03) 3264-3919
大阪営業所 営業課	〒550 大阪市西区南堀江2-9-22	☎ (06) 536-0671	Fax (06) 536-4020
福岡営業所	〒812 福岡市博多区豊2-1-4	☎ (092) 411-1202	Fax (092) 411-1209
札幌営業所	〒064 札幌市中央区南5条西12丁目	☎ (011) 561-2488	Fax (011) 563-2620
仙台営業所	〒983 仙台市宮城野区榴岡4-4-10 国伊ビル	☎ (022) 295-1101	Fax (022) 295-1103
名古屋営業所	〒464 名古屋千種区内山1-14-5	☎ (052) 732-2521	Fax (052) 732-2520
広島営業所	〒730 広島市中区大手町3-12-2	☎ (082) 247-6412	Fax (082) 247-3579
高松営業所	〒761 高松市鶴子町1035-1	☎ (0878) 81-9344	Fax (0878) 81-9342
コマースナル東京	〒102 東京都千代田区富士見1-4-6	☎ (03) 3264-8668	Fax (03) 3264-8624
大阪営業所コマースナル課	〒550 大阪市西区南堀江2-9-22	☎ (06) 536-1667	Fax (06) 536-4020
福岡営業所コマースナル課	〒812 福岡市博多区豊2-1-4	☎ (092) 411-1254	Fax (092) 411-1209
海外事業部	〒102 東京都千代田区富士見1-4-6	☎ (03) 3264-8622	Fax (03) 3264-6385
ストロボクリニック部本部	〒102 東京都千代田区富士見1-4-6	☎ (03) 3234-5081	Fax (03) 3234-1356
米国現地法人	COMET WORLD INC. 311-319 Long Avenue, Hillside, N.J. 07205. U.S.A.		